



国語「あなたはどうか考える」自分のテーマで意見文を書こう！（5年）

5年生は、国語の「あなたはどうか考える」の学習で新聞の投書欄を参考に、意見文を書く学習に取り組んでいます。完成した作品を、紙面の都合から一部抜粋してご紹介します。

一人ひとりの思いやりが大事

私は、プラスチックごみを海に流すのはよくないと思います。

理由は2つあります。1つ目は、海洋プラスチックの問題です。海洋プラスチックは、海に捨てるとマイクロプラスチックになり、海が汚れるからです。

2つ目は、マイクロプラスチックをウミガメなどが餌だと思い、間違えて食べてしまうからです。食べてしまい、ウミガメが死んでしまったことをテレビで見ました。私はそれを見て、「これは放っておいたら、辛くて大変なことになるな。」と思いました。

確かに、自分でごみを持って帰るのは、かさばるし面倒くさいです。けれど、一人ひとりが捨てるのをやめると、地球は救われるのです。

このように、プラスチックごみは問題になっています。一人が海に捨てるのをやめることで、地球がだいふ救われます。海へのポイ捨てをやめてほしいです。

昔の道具を実際に使った！史季の郷 出前授業（3年）

「道具が変わっていくことによって、人々の生活も変わってきているのではないだろうか。」そのような問題意識のもと、道具が使われていた頃の暮らしを実際に体験しながら学びました。「今の生活も便利だけど、自分の力を使ってできる昔の道具はすごいと思いました。」等の発言も聞かれ、有意義な時間になりました。この活動を通して出た感想や意見を踏まえながら、生活の変化についても整理していく予定です。

ご家庭でも、様々な「昔の道具」について話題にしていただけましたら幸いです。



コンサートの鑑賞を通して「本物」を感じた！ふれあいコンサート（5年）

1月26日（木）に、みなとみらいホールで行われた『心の教育ふれあいコンサート』を鑑賞しました。誰もが一度は耳にしたことのある有名な曲がたくさん演奏されたのですが、オーケストラの生演奏を初めて聞く子どもも多く、「YouTubeで聞くのと全然違う！」と、何とも今時なつぶやきをしている子がたくさんいました。感想を紹介します。

迫力がすごくて、一番気に入った楽器はフルートです。高い音で、一回吹いてみたいなあ～と思いました。気に入った曲は、ラデツキー行進曲です。みんなが手を叩いて一緒に演奏したのがすごく楽しかったので、一番好きな曲になりました。

ぼくは、ふれあいコンサートを聞いて、とてもすごくて迫力があるなと思いました。なぜなら、コンサートの最後の方に「威風堂々」を聞いたときに、とても大きく、「堂々」とした音がホール中から聞こえてきたからです。とても感動したので、何か機会があったらまた聞きに行きたいです。

本物に触れることで、音楽を楽しむ心が大きく広がるのを感じる体験ができました。音楽以外にも、今後の豊かな表現につながっていくことと思います。まずは2月の音楽朝会発表に生かします。



「いざ」という時のために！防災出前授業(4年)

12月19日(月)に、鶴見区役所の方々による防災出前授業がありました。どうして地震が起こるのか、地震が起こったときにどのような行動をとればよいのか、どんな備えをしておけばよいのかという話を聞かせていただきました。

子どもたちは地震の被害の後停電になり、歩いて帰路につく映像を見て被害の深刻さを具体的に知ったり、いただいたハザードマップで自分たちの住んでいる場所を確認して避難施設を確認したりしながら、防災に対する関心を高めていました。

講話後、震災時の家族との連絡方法や待ち合わせ場所を決めておくことなど日頃から自分にできることをしておきたいという意識を持ったようです。



6年間の校外学習のまとめ！東京見学(6年)

12月21日(水)に、東京見学に行きました。

東京見学では、国会議事堂とRED° TOKYO TOWERという東京タワー内にあるe-sports体験施設へ行ってきました。

国会議事堂では衆議院を見学し、会議がおこなわれる場所を見学させていただきました。

RED° TOKYO TOWERでは、最先端のテクノロジーを搭載した体験型ゲームから、ボードゲームなど様々なアトラクションを体験することができました。

どちらもなかなかできない体験に、真剣に話を聞く子ども達の姿や夢中になってゲームに取り組む姿がありました。



学校・地域コーディネーターより

今年度も、保護者や地域の方々にはたくさんの活動にご協力いただきありがとうございました。令和5年度も引き続き教育活動を充実させるお手伝いができると思っています。6年生の保護者の皆様には今後「地域」として、在学の皆様には「保護者」として引き続きご協力をお願いします。尚、ご都合が悪くなった方は3月15日までに「らくらく連絡網」代表宛までご連絡ください。